



## 2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月12日

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所  
 コード番号 4920 URL <http://www.shikizai.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷 康彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・財務部長 (氏名) 霜田 正樹

TEL 03-3456-0561

四半期報告書提出予定日 2021年1月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	7,205	21.2	414		350		248	
2020年2月期第3四半期	9,142	6.7	409	38.7	380	40.4	278	43.2

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 208百万円 ( %) 2020年2月期第3四半期 230百万円 ( 47.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	118.70	
2020年2月期第3四半期	132.86	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	16,180	3,664	22.6	1,748.52
2020年2月期	15,524	3,925	25.3	1,873.06

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 3,664百万円 2020年2月期 3,925百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		25.00	25.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,803	19.7	484		353		252		120.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	2,099,376 株	2020年2月期	2,099,376 株
期末自己株式数	2021年2月期3Q	3,520 株	2020年2月期	3,520 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	2,095,856 株	2020年2月期3Q	2,095,856 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年11月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大に伴う国内外の経済活動の停滞や縮小により、景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後は国内の経済活動に一部回復の兆しがありましたが、第3波の感染拡大に歯止めがかからず、先行きは依然として、不透明な状況が続いております。

化粧品業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けております。2020年2月以降、商業施設の営業時間短縮・臨時休業や、消費者の外出自粛ならびにマスク着用の常態化により個人消費が減退、さらに、わが国への入国規制強化による訪日外国人旅行者の急減に伴うインバウンド需要の激減により、化粧品需要は大きく減少いたしました。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、国内では2020年4月に政府の緊急事態宣言発出を受け、国内生産拠点ならびに本社において在宅勤務や一時生産休止などの感染対策を余儀なくされ、また、フランス拠点におきましても政府による都市封鎖(ロックダウン)などの影響で工場操業度が一時著しく低下するなど、グループ全体の事業活動に多大な影響が及びました。

当社グループでは、2017年度からスタートした「中期事業戦略ビジョン(2017-2021)」のもと、「生産能力の増強」ならびにグループシナジーの創出を通じた「グローバル化の加速化」の実現に取り組んでおりますが、想定外の新型コロナウイルス感染症拡大と影響の長期化により、厳しい環境のもとで事業活動を強いられております。

当面は、処方・生産技術の開発ならびに品質や安全性の向上に加え、ニューノーマルの時代に即した事業戦略の再構築などを通じて、業績の速やかな回復に向け更なる努力を重ねてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は、①新型コロナウイルス感染症対策としての外出自粛やマスク着用の常態化によるメイクアップ化粧品の消費需要の減少、②訪日外国人旅行者によるインバウンド需要の減少、③世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による海外向け製品受注の減少、ならびに④新製品企画の先送りの影響が大きく、フランス連結子会社は増収となったものの、前年同期比21.2%減の7,205百万円となりました。

利益面では、売上高の急減に加えて「つくば工場第3期拡張工事」竣工に伴う諸費用の増加等により営業損失は414百万円、補助金収入112百万円等の計上により経常損失は350百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は248百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における所在地別セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

(日本)

上記のとおり新型コロナウイルス感染症の拡大によって国内外の化粧品需要が急速に減退した結果、国内・海外化粧品メーカー各社からのアウトソーシング受注が減少したことから、売上高は前年同期比28.1%減の5,403百万円となりました。利益面では、売上高の急減に加えて「つくば工場第3期拡張工事」竣工に伴う諸費用の増加等により、営業損失570百万円となりました。

(仏国)

子会社THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S.(以下「テプニエ社」という)の所在する欧州は、当第3四半期連結累計期間(1~9月)において、新型コロナウイルス感染拡大の影響で景気が低迷するなかで、テプニエ社も一時期化粧品製造ラインの操業休止を余儀なくされましたが、好調な受注と生産を反映し、売上高は前年同期比8.0%増の1,844百万円、営業利益も前年同期比68.8%増の149百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、655百万円増加し、16,180百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が699百万円減少し、固定資産が1,354百万円増加したことによるものであります。流動資産の主な減少要因は、現金及び預金が253百万円増加し、受取手形及び売掛金が615百万円、その他が244百万円減少したことによるものであります。固定資産の主な増加要因は、建物及び構築物が235百万円、土地が852百万円、投資その他の資産のその他が125百万円増加したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、916百万円増加し、12,515百万円となりました。負債合計の増加は、流動負債が516百万円減少し、固定負債が1,433百万円増加したことによるものであります。流動負債の主な減少要因は、短期借入金が341百万円、賞与引当金が125百万円増加し、支払手形及び買掛金が287百万円、電子記録債務が315百万円、その他が380百万円減少したことによるものであります。固定負債の主な増加要因は、長期借入金が1,492百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、261百万円減少し、3,664百万円となりました。主な減少要因は、株主資本が親会社株主に帰属する四半期純損失248百万円等により301百万円減少し、その他の包括利益累計額合計が40百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年10月8日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	835,346	1,088,488
受取手形及び売掛金	2,226,476	1,610,805
電子記録債権	184,547	118,798
たな卸資産	2,099,546	2,072,873
その他	385,190	140,990
流動資産合計	5,731,107	5,031,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,110,690	5,345,871
機械装置及び運搬具(純額)	1,458,167	1,479,666
土地	1,301,018	2,153,674
建設仮勘定	345,820	350,514
その他(純額)	320,663	332,272
有形固定資産合計	8,536,360	9,661,998
無形固定資産	369,111	361,878
投資その他の資産		
投資有価証券	442,277	489,071
その他	526,596	651,693
貸倒引当金	△81,065	△16,595
投資その他の資産合計	887,809	1,124,169
固定資産合計	9,793,280	11,148,047
資産合計	15,524,388	16,180,004
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	695,734	408,513
電子記録債務	897,714	581,923
短期借入金	1,451,650	1,793,477
賞与引当金	78,608	204,065
その他	1,239,904	859,192
流動負債合計	4,363,612	3,847,171
固定負債		
長期借入金	6,450,007	7,942,879
役員退職慰労引当金	146,430	146,430
退職給付に係る負債	64,242	71,422
その他	574,439	507,449
固定負債合計	7,235,119	8,668,181
負債合計	11,598,732	12,515,352
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	714,104	714,104
資本剰余金	943,209	943,209
利益剰余金	2,121,719	1,820,537
自己株式	△3,857	△3,857
株主資本合計	3,775,176	3,473,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,604	253,788
為替換算調整勘定	△72,125	△63,130
その他の包括利益累計額合計	150,479	190,657
純資産合計	3,925,655	3,664,651
負債純資産合計	15,524,388	16,180,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	9,142,435	7,205,106
売上原価	7,681,262	6,665,426
売上総利益	1,461,173	539,679
販売費及び一般管理費	1,051,999	954,166
営業利益又は営業損失(△)	409,173	△414,486
営業外収益		
受取利息	716	1,424
受取配当金	5,807	5,647
補助金収入	12,262	112,897
雑収入	13,963	18,841
営業外収益合計	32,750	138,811
営業外費用		
支払利息	50,234	71,966
その他	11,254	3,249
営業外費用合計	61,489	75,216
経常利益又は経常損失(△)	380,434	△350,891
特別損失		
固定資産除却損	2,042	29
特別損失合計	2,042	29
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	378,392	△350,921
法人税、住民税及び事業税	121,817	44,786
法人税等調整額	△21,888	△146,921
法人税等合計	99,928	△102,135
四半期純利益又は四半期純損失(△)	278,464	△248,785
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	278,464	△248,785

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	278,464	△248,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,187	31,183
為替換算調整勘定	△66,518	8,994
その他の包括利益合計	△48,331	40,178
四半期包括利益	230,132	△208,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	230,132	△208,607
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年3月1日 至 2019年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,462,195	1,680,240	9,142,435	—	9,142,435
セグメント間の内部売上高又は 振替高	57,079	27,203	84,283	△84,283	—
計	7,519,275	1,707,444	9,226,719	△84,283	9,142,435
セグメント利益	314,255	88,797	403,052	6,120	409,173

(注) 1. セグメント利益の調整額6,120千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年3月1日 至 2020年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,361,017	1,844,089	7,205,106	—	7,205,106
セグメント間の内部売上高又は 振替高	42,035	101	42,136	△42,136	—
計	5,403,052	1,844,190	7,247,242	△42,136	7,205,106
セグメント利益又は損失(△)	△570,728	149,885	△420,842	6,355	△414,486

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額6,355千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。